

# (ISC)<sup>2</sup><sup>®</sup>



## Candidate Information Bulletin (受験予定の方への最新情報)



<b>認定について</b> .....	4
なぜ資格を取得するのか?あなた自身をアップグレードするために .....	4
どの資格があなたに合っていますか? .....	4
<b>認定への道</b> .....	7
エンドースメントプロセスを完了する.....	7
エンドースメント期限.....	7
(ISC) <sup>2</sup> 倫理規約に同意する .....	7
初回のAMF(Annual Maintenance Fee:年会費)を支払う .....	7
メンバーのAMF(Annual Maintenance Fee:年会費) .....	8
(ISC) <sup>2</sup> アソシエイト(準会員)のAMF.....	8
試験による再認定 .....	8
<b>(ISC)<sup>2</sup>メンバーのメリット</b> .....	9
認定の価値.....	9
他に類を見ないメンバーベネフィット.....	9
PDI(Professional Development Institute).....	9
CPEクレジット取得の機会.....	9
あなたの会員資格の管理 .....	10
参加、ボランティア、成長.....	10
割引、特典、リソース:.....	10
<b>試験について</b> .....	11
試験への登録.....	11
試験日の準備.....	11
試験の変更やキャンセル.....	11
試験形式と採点.....	12
<b>サイバーセキュリティ試験のポリシーと手順</b> .....	13
試験の変更やキャンセル.....	13
払い戻し.....	13
遅刻・欠席の場合.....	13
テストセンターに持参するもの .....	13
テストセンターに持ち込んではいけないもの .....	14
ネームマッチングポリシー .....	14
<b>受験の日</b> .....	14
チェックインプロセス.....	14
受験のアシスタントと休憩.....	15
テスト環境.....	15
試験が終わったら .....	15



技術的な問題.....	15
結果を受け取る.....	16
試験の不正と結果の無効化.....	16
再受験ポリシー.....	16
<b>(ISC)<sup>2</sup> 合否判定ルール.....</b>	<b>18</b>
異なるフォーマットの問題.....	18
CISSP合格基準.....	18
類似問題.....	19
推測.....	19
<b>追加試験情報.....</b>	<b>20</b>

## 認定について

情報セキュリティのスキルは、これまで以上に需要が高まっています。しかし最近、知識や経験、スキルがあるだけでは不十分になってきました。雇用主は、あなたが必要とする専門知識を持っている証拠を求めています。情報セキュリティの資格が必要になるでしょう。最新の脅威や技術に対応するために、あなたが継続的にスキルを向上させているか知りたいのです。情報セキュリティ資格のゴールドスタンダードで知られ、世界的リーダーである(ISC)<sup>2</sup>があなたのスキルを証明します。

### なぜ資格を取得するのか？あなた自身をアップグレードするために

(ISC)<sup>2</sup> 認定資格を取得すると、

- 自分がその分野のリーダー、そして専門家であることを確認できます。
- 希望する求人情報に出会った際、他の候補者との差別化を図ることができます。
- 長年の経験で得た知識やスキルを検証できます。
- (ISC)<sup>2</sup>のメンバーとしてコミュニティの一員になります。サイバーセキュリティリーダーたちのユニークなコミュニティで、技術を磨くことができます。
- ネットワーキング、メンタリング、教育ツール、グローバル・リソースにアクセスすることができます。自分を成長させ、挑戦することができます。(ISC)<sup>2</sup>は、あなたのような専門家がキャリアを通じて学び、認定され、そして成長できるように支援します。
- セキュリティの脅威に正面から向き合うための力・教育・人的ネットワークを手に入れましょう。

### どの資格があなたに合っていますか？

- **CISSP (Certified Information Systems Security Professional)** : 世界で最も高く評価されているサイバーセキュリティ資格です。CISSPは、現場での実践力だけでなく、サイバーセキュリティ戦略を理解している情報セキュリティリーダーを認定します。組織の全体的なセキュリティ態勢を設計・開発・管理するための知識と経験を持っていることがわかります。
  - 必要な経験: 候補者は、CISSP Common Body of Knowledge (CBK)の8つのドメインのうち、2つ以上のドメインで5年以上の累積有給フルタイムの実務経験を有している必要があります。4年制大学卒業学位取得者や(ISC)<sup>2</sup>が認める資格の取得者は、1年間分の経験が免除されます。
- **SSCP (Systems Security Certified Practitioner)** : グローバルなITセキュリティ資格です。SSCPは、あなたの現場力・技術力・実践的な経験を認定します。それはあなたが情報セキュリティポリシーとプロシージャに基づいてITインフラストラクチャを実装・監視・管理するスキルを有していることを示します。それは、データの機密性・完全性・可用性を確保します。
  - 必要な経験: 候補者は、SSCP Common Body of Knowledge (CBK)の7つの領域のうち、1つ以上の領域で1年以上の累積実務経験を有していなければなりません。サイバーセキュリティプログラムで学位(学士または修士)を取得した候補者には、1年間の経験が免除されます。
- **CCSP (Certified Cloud Security Professional)** : クラウドセキュリティの資格です。今、最も注目されている資格の一つです。CCSPは、クラウドセキュリティアーキテクチャ・設計・運用・サービスオーケストレーションにベストプラクティスを適用できる知識と能力を持つ、ITおよび情報セキュリティリーダーを認定します。

- **必要な経験:** 候補者は、情報技術分野で5年以上の累積有給フルタイムの実務経験があることが必要です。3年は情報セキュリティ分野、1年はCCSP Common Body of Knowledge (CBK) の6つのドメインのうち1つ以上の分野を担当している必要があります。クラウドセキュリティアライアンスのCCSK試験に合格すると、CCSP CBKの6つのドメインのうち1つまたはそれ以上のドメインでの1年間の経験に置き換えることができます。(ISC)<sup>2</sup>のCISSP資格を持っている人は、CCSPの経験要件を全て満たします。
- **CAP (Certified Authorization Professional):** リスクマネジメントフレームワーク (RMF) に沿った情報セキュリティ資格です。CAPは、RMFに基づいて情報システムをオーソライズし、維持するための知識・スキル・能力を認定します。リスクを評価し、セキュリティ文書を確立するためのプロセスを正式化する方法を知っていることが証明されます。

  - **必要な経験:** 候補者は、CAP Common Body of Knowledge (CBK) の7つの領域のうち、1つまたは複数の領域で、最低2年間の累積的な有給フルタイムの実務経験を持っている必要があります。
- **CSSLP (Certified Secure Software Lifecycle Professional):** ソフトウェアとアプリケーションに関するセキュリティスキルを持つ人材を認定する、ベンダーニュートラルなグローバルな認定資格です。CSSLP は、認証・認定・監査などのセキュリティ対策を SDLC の各フェーズに組み込むための専門知識と能力を認定します。

  - **必要な経験:** 候補者は、CSSLP Common Body of Knowledge (CBK) の8つのドメインのうち1つまたは複数のドメインにおいて、最低4年間の累積有給フルタイムのSDLC専門家としての経験を有している必要があります。4年制大学の学位を取得した場合、または地域の同等の学位を取得した場合は、1年間の必要な経験が免除されます。4年制大学卒業学位取得者や(ISC)<sup>2</sup>が認める資格の取得者は、1年間分の経験が免除されます。
- **HCISPP (HealthCare Information Security and Privacy Practitioner):** ヘルスケアセキュリティ資格です。他の資格とは異なり、ヘルスケア情報セキュリティとプライバシーの架け橋になります。HCISPPは、医療および患者情報のセキュリティおよびプライバシー管理を有効に実施・管理・評価するための知識と能力を認定します。医療リスク・セキュリティ・プライバシーの分野で強い基盤を持ち、医療に関する重要な規制を理解していることを認定しています。

  - **必要な経験:** 候補者は、セキュリティ・コンプライアンス・プライバシーを含むHCISPP共通知識体系 (CBK) の1つ以上の知識分野において、最低2年間の累積有給フルタイムの実務経験を有していなければなりません。法務の経験は、コンプライアンスに関する経験とみなすことができる場合があります。
- 情報管理の経験は、プライバシーに関する経験とみなすことができる場合があります。経験年数2年のうち、1年は医療業界での経験が必要です。
- **CISSP-ISSAP (情報システムセキュリティアーキテクチャプロフェッショナル):** CISSPに基づいて構築された上級専門資格です。これらは、CISSPに関する分野をマスターしたことを証明したいCISSP保持者のための選択肢です。CISSP-ISSAPとして、セキュリティソリューションの開発・設計・分析の専門知識を証明することができます。また、組織の目標を達成するために、上級管理職に対してリスクに応じた提言を行う能力も含みます。

  - **必要な経験:** 候補者は、CISSP の資格を有し、CISSP-ISSAP Common Body of Knowledge (CBK) の6つのドメインのうち1つまたは複数のドメインで2年間の累積有給フルタイムの実務経験を有していなければなりません。



- CISSP-ISSEP (情報システムセキュリティエンジニアリングプロフェッショナル) : CISSPに基づいて構築された上級専門資格です。これらは、CISSPに関する分野をマスターしたことを証明したいCISSP保持者のための選択肢です。CISSP-ISSEP資格者は、安全なシステムを開発するため、システム工学の原則とプロセスを実践的に適用する能力を持ちます。
  - 必要な経験: 候補者は、CISSP の資格を有し、CISSP-ISSEP Common Body of Knowledge (CBK) の 5 つのドメインのうち 1 つまたは複数のドメインについて、2 年間の累積有給フルタイムの実務経験を有していなければなりません。
- CISSP-ISSMP (情報システムセキュリティマネジメントプロフェッショナル) : CISSPに基づいて構築された上級専門資格です。これらは、CISSPに関する分野をマスターしたことを証明したいCISSP保持者のための選択肢です。CISSP-ISSMPとして、情報セキュリティプログラムを確立・提示・管理することに優れています。また、高いマネジメント力とリーダーシップを発揮することができます。
  - 必要な経験: 候補者は、CISSPの資格を有し、CISSP-ISSMP共通知識体系(CBK)の6つのドメインのうち1つまたは複数のドメインで2年間の累積有給フルタイムの実務経験を有している必要があります。
- アソシエイト (準会員) : あなたのスキルを検証し、認定に向けて迅速に前進するためのユニークな証明です。アソシエイトは、サイバーセキュリティの知識を証明します。
  - 必要な経験: 各資格が必要とする実務経験を満たしていなくても、(ISC)<sup>2</sup>認定試験を受けることができます。合格した場合は、CISSP、SSCP、CCSP、CAP、CSSLP、HCISPP、またはCCFPとして認定されるために必要な経験を得るために働く間、継続的な専門教育 (CPE) の要件を満たす必要があります。

すべての(ISC)<sup>2</sup>認定資格に対応した[Exam outline \(試験概要\)](#)があり、各試験でカバーされるドメインの詳細が記載されています。



## 認定への道

このサイバーセキュリティ認定資格を取得するには、試験に合格し、実務経験の要件を満たすか、(ISC)²のアソシエイトになる必要があります。

### エンドースメントプロセスを完了する

試験の合格通知を受け取ったら、オンラインでのプロセスを開始することができます。エンドースメント申請には、(ISC)²の認定資格を持った推薦者による承認とデジタル署名が必要です。(ISC)²の認定資格を持っている人が身の回りにいない場合は、(ISC)²が推薦者(エンドーサー)となります。次の条件を満たす人が推薦者になることができます。

- あなたの専門的な経験を証明できる人
- 有効な(ISC)²資格を持っている人

推薦者は、専門的な経験に関してあなたが申請した内容が、推薦者の知識の範囲内で真実であること、およびあなたがサイバーセキュリティ業界内で適切な存在であることを保証します。オンライン申請の際には、推薦者のメンバー番号が必要となります。

### エンドースメント期限

試験に合格した受験者は、9ヶ月以内にエンドースメントプロセスを完了する必要があります。

注意: 試験に合格し、エンドースメントを提出した受験者から、一定の割合で監査のために無作為に抽出され、検証のために必要に応じて追加情報の提出が求められます。審査に合格した場合は、メールで通知されます。

### (ISC)²倫理規約に同意する

(ISC)²の認定を受けたすべての情報セキュリティ専門家は、この認定は取得するだけでなく、維持しなければならない特権であることを認識する必要があります。すべての(ISC)²メンバーは、(ISC)²倫理規約に全面的に同意することを約束しなければなりません。

- 社会、公益、公共から求められる信頼と信用、インフラを守る。
- 法律に違わず、公正かつ誠実に責任を持って行動する。
- 原則に基づき、優れたサービスを提供する。
- 専門性を高め、維持する。

### 初回のAMF(Annual Maintenance Fee:年会費)を支払う

エンドースメントが(ISC)²本部によって承認されたら、プロセスの最終段階として、最初のAMFを支払うこととなります。すでに(ISC)²認定資格をお持ちの方は、最新の認定を取得するために追加でAMFを支払う必要はありません。



## メンバーのAMF(Annual Maintenance Fee:年会費)

(ISC)<sup>2</sup>メンバーは、年次の認定更新日に125ドルのAMFを支払う必要があります。メンバーは、保有している認定資格の数に関係なく、AMFとして125米ドルを支払います。複数の資格を持つメンバーのAMFは、認定開始日が一番早い認定の更新時に支払い期限を迎えます。

## (ISC)<sup>2</sup>アソシエイト(準会員)のAMF

(ISC)<sup>2</sup>のアソシエイトは、アソシエイト資格を取得した日から毎年50ドルのAMFを支払う必要があります。

## 試験による再認定

(ISC)<sup>2</sup>の認定メンバーおよびアソシエイトが、一旦停止された認定等を復活させるためには、不足しているすべてのCPEクレジットを申請し、未払いのAMFをすべて支払わなければなりません。(ISC)<sup>2</sup>の認定メンバー及びアソシエイトには、認定サイクル終了後90日間の猶予期間が与えられ、未処理のCPE単位及び期限切れのAMFを満たすことができます。停止状態は最長2年間維持することが可能です。停止となったメンバーとアソシエイトは、既に専門知識があることを証明していることから、再試験することなく、600米ドルを支払うことで復帰することが可能です。

2年経過後、(ISC)<sup>2</sup>の認定メンバーおよびアソシエイトは失効となり、すべてのメンバー資格は取り消されます。失効した認定メンバーとアソシエイトが復帰を希望する場合は、再受験して試験に合格し、復帰費用として600米ドルを支払う必要があります。





## (ISC)<sup>2</sup>メンバーのメリット

(ISC)<sup>2</sup>は、セキュリティリーダーのための国際的な非営利団体です。私たちは、メンバーが学び、成長し、目標を達成するためのお手伝いをするをお約束します。15万人以上の強力な認定メンバーを擁し、サイバー・情報・ソフトウェア・IT・インフラセキュリティのあらゆる側面に関わるプロフェッショナルを支援しています。

(ISC)<sup>2</sup>認定資格を取得すると、世界的に認知されているサイバーおよびITセキュリティの専門家と繋がることができます。安心して安全なサイバー世界を実現するという私たちの使命を達成しながら、キャリアを強化するために役立つ、他にはないリソース、教育ツール、ピアツーピアのネットワーキングの機会、カンファレンスやイベントの割引など、さまざまな特典が用意されています。

### 認定の価値

(ISC)<sup>2</sup>は、キャリアを通じて専門家を教育し、認定する世界的な非営利団体のリーダーとして認められています。私たちのサイバーおよびITセキュリティの認定とトレーニングプログラムは、業界のゴールドスタンダードとして認識されています。

(ISC)<sup>2</sup>から認定されることは、その分野での能力についてテストされ、検証可能な証明を得ることになり、キャリアアップと新たな専門職としての成長の機会につながります。

### 他に類を見ないメンバーベネフィット

(ISC)<sup>2</sup>のメンバーとして、学習と成長を止めてはいけません。最新のサイバー脅威、ベストプラクティス、業界のトレンドを先取りした継続教育とスキルの開発を可能にするための各種特典やリソースへのアクセスを提供しています。

メンバーおよびアソシエイトは、充実した専門能力の開発やボランティアの機会、Peer-to-Peerのネットワーキングやベストプラクティスの共有、(ISC)<sup>2</sup> Security Congressのサイバーセキュリティカンファレンス、専門家の認定や表彰プログラム、業界イベントや学習教材の割引など、スキルセットの拡大やCPEクレジットの取得を可能にするさまざまなリソースや限定的な特典を利用できます。

### PDI(Professional Development Institute)

メンバーとアソシエイトは、スキルを磨き、好奇心を刺激しながら、CPEクレジットを取得することができます。メンバーとアソシエイトが追加料金なしで利用できるPDIライブラリーには、1万ドル以上の価値のある35のエクスペリエンスラーニング、体験型、Labスタイルのコースが含まれています。

### CPEクレジット取得の機会

(ISC)<sup>2</sup>は、メンバーやアソシエイトがセキュリティの専門家として進化し、成長していくのに役立つ、やりがいのあるCPEの機会を幅広く提供しています。(ISC)<sup>2</sup>のイベント、Webinar、出版物、試験問題作成ワークショップへのボランティア参加は、CPEクレジットを取得し、サイバーセキュリティの最新の問題やベストプラクティスを常に把握するための素晴らしい方法です。



## あなたの会員資格の管理

デジタル証明書のダウンロード、デジタルバッジの請求、CPEの確認、コミュニケーション設定の更新などができます。(ISC)<sup>2</sup>メンバーシップを最大限に活用しているかどうかを確認してください。

## 参加、ボランティア、成長

専門性を高め、ベストプラクティスを共有し、メンターとなり、成果を認識するための多くの機会について学びましょう。

- 試験問題の開発: CPEクレジットを獲得することができる試験問題作成など、さまざまな試験問題作成ワークショップに参加することで、認定資格に貴重なインプットを提供し、あなたの(ISC)<sup>2</sup>認定資格を最新かつ業界に関連したものであり続けるようにしましょう。
- Security Congress: (ISC)<sup>2</sup> Security Congressに参加し、私たちが直面している課題を解決するため、互いに助け合うことに専念している同志が集まるカンファレンスでしか得られない強力なコラボレーションを活用してください。
- Center for Cyber Safety and Education: 子どもや親、高齢者がオンラインで安心・安全でいられるように、地域でのボランティア活動の機会を見つけてください。さらに、奨学金について知り、その情報は雇用主と共有することもできます。
- コミュニティ: オンラインコミュニティで世界中のサイバーセキュリティの専門家とつながりましょう。コラボレーションし、知識を共有し、ベストプラクティスを開発することで、進化し続けるサイバー業界のニーズと関心を満たしましょう。
- Chapter (チャプター): (ISC)<sup>2</sup> Chapterは、知識やリソースを共有し、協力してプロジェクトを実行し、CPEクレジットを取得するための新しい方法を生み出すために、業界のネットワークを構築する機会を提供します。
- (ISC)<sup>2</sup> Blog (ブログ): (ISC)<sup>2</sup> Blogでは、サイバーセキュリティの専門家が直面している話題を取り上げています。投稿を読むことで、新しい調査やレポート、資格のニュースを知ることができます。(ISC)<sup>2</sup> メンバーは自分で執筆してCPEを獲得することができます。

## 割引、特典、リソース:

トレーニング教材の割引から専門的なサービスの割引まで、メンバー限定の割引や特典を幅広く利用できます。



# 試験について

## 試験への登録

1. ピアソンVUEのウェブサイトをご覧ください<https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/ISC2.aspx>
2. アカウントを作成し、秘密保持契約書 (NDA) に同意します。ピアソンVUEは、グローバルですべての(ISC)²試験を管理しています。
3. 試験の種類を選択します。
4. 試験日と試験会場を決定します。
5. 受験料を支払います。
6. 予約の詳細、テストセンターの場所、その他の指示が記載されたピアソンVUEからの確認メールを確認してください。
7. ピアソンVUEでは、登録された情報を(ISC)²に送付します。テストプロセスに関するすべての連絡は、電子メールで送信されます。お住まいの地域の電話番号は[ピアソンVUEのウェブサイト](#)で確認できます。

## お問い合わせ

(ISC)² メンバーサービス

- [membersupport@isc2.org](mailto:membersupport@isc2.org)

## 試験日の準備

- (ISC)²資格に求められる[経歴資格](#)を確認しておく。それらの情報は、試験に合格したときに、(ISC)²メンバーになるために必要なものです。
- 各試験はコンピュータを使用しています。ピアソンVUEのウェブサイトでは、試験体験のデモとチュートリアルを見ることができます。
- (ISC)²の試験を受験することにより、あなたは[\(ISC\)²試験同意書](#)を読み、そこに記載された義務に同意することを確認したものとします。ピアソンVUEの資格情報を許可されていない第三者に公開することは、(ISC)² 秘密保持契約に違反します。許可されている第三者には、受験者、ピアソンVUE、(ISC)²が含まれます。(ISC)² 秘密保持契約に違反した場合、あなたの試験結果または認定が即時かつ永久に終了する可能性があります。
- 米国退役軍人の福利厚生についての詳細はこちら

## 試験の変更やキャンセル

- (ISC)²は、試験のために合理的かつ適切な便宜を提供しています。例外的な環境での受験を希望する場合は、[申請書](#)に必要事項を記入し、下記の情報を添えて、試験申し込み前に(ISC)²([membersupport@isc2.org](mailto:membersupport@isc2.org))に送付してください。
  - 必要な例外的な環境の説明と、必要なことを裏付ける書類
  - 受験する試験と受験場所

- テストの対応は個別に確認し、ケースバイケースで検討、対応します。(ISC)<sup>2</sup>によって受験環境が承認されたら、ピアソンVUE対応窓口に送ります。ピアソンVUEがこの情報を入力するまでに2～3営業日かかります。その後、ピアソンVUEに電話をして、試験のスケジュールを立てましょう。まずは(ISC)<sup>2</sup>までご連絡ください。ピアソンVUEのウェブサイトや通常の登録電話窓口を介して受験予約を開始しないでください。
- 試験の目的は、受験者が試験に完全にアクセスできるようにすることであることをご留意ください。受験システムの性能向上や試験の完了を保障するものではありません。

## 試験形式と採点

試験の採点に関するよくある質問への回答は、[こちら](#)をクリックしてください。

試験	時間 割り当て	項目	対応言語
CISSP	3時間	100～150の多肢選択や高度に革新的な問題	英語
CISSP (英語以外)	6時間	250の多肢選択や高度に革新的な問題	フランス語、ドイツ語、ブラジル語 ポルトガル語、スペイン語-現代語 日本語、中国語(簡体字)。 韓国語
SSCP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語、日本語、ブラジルポルトガル語
CCSP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語、日本語
CAP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語
CSSLP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語
HCISPP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語
CISSP-ISSAP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語
CISSP-ISSEP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語
CISSP-ISSMP	3時間	125の多肢選択や四者択一	英語

シナリオベースで複数の選択問題がある場合があります。それぞれ25項目のプレテスト問題が含まれています。それらは調査のために含まれています。プレテスト問題は特定されていないので、全ての問題を精一杯答えてください。

サイバーセキュリティ試験に合格するには、1,000点満点中700点以上のスコアが必要です。

CISSPのCAT(**Computerized Adaptive Testing**)は世界中のすべての英語CISSP試験に対応しています。CISSP CATは連続問題式の試験と同じ試験内容のアウトラインに基づいて、より正確で効率的にあなたのコンピテンシーを評価します。

## サイバーセキュリティ試験のポリシーと手順

### 試験の変更やキャンセル

- 試験の予約を変更またはキャンセルするには、アカウントにログインするか、ピアソンVUE に連絡してください。
- 試験の48時間前までにオンラインで、または試験の24時間前までに電話でご連絡ください。
- Pearson VUEは、変更手数料として50ドル、キャンセル料として100ドルを請求します。

### 払い戻し

受験登録料(電話・インターネットでの予約)の返金は、以下の場合を含め、いかなる理由があっても行いません。

- 重複登録
- 24 営業時間までに試験予約の変更やキャンセルをしなかった場合
- 試験予約に出席しなかった場合

### 遅刻・欠席の場合

- 試験開始時間の30分前までに必ず試験会場に到着しましょう。
- 開始時間15分前に到着しなかった場合は、遅刻とみなされます。その場合、あなたに割り当てられた座席が解放されてしまうことがあります。他の人の試験開始時間に影響を与えることなく受験することができるかどうかは、テストセンターが判断します。
- ピアソンVUEでは、遅刻した場合にも対応できるよう、最善を尽くします。しかし、試験を受けることができない場合もあります。
- 遅刻や欠席で試験を受けられない場合、試験結果は欠席としてシステムに表示され、受験料は失うこととなります。受験料は返金されません。

### テストセンターに持参するもの

- (ISC)<sup>2</sup>では、サイバーセキュリティ試験を受験するために2つの身分証明書が必要です。試験会場のチェックイン時には、第一身分証明書と第二身分証明書の提示が必要です。(ISC)<sup>2</sup>へのひら静脈スキャンの提出が必要です。
  - あなたのIDは有効期限内でなければなりません(期限切れのIDは不可)。
  - コピーやファックスではなく、原本でなければなりません。(写真は文書に永続的に貼付されている必要があります)
  - 二次身分証明書には署名が必要です。
- 第一身分証明書としては、写真が印刷されている身分証明書の 有効な 原本 が必要です。運転免許証、パスポート、マイナンバーカード、外国人登録証明書または在留カード、特別永住者証明書、社員証(注1)、学生証(注1)



- (注1)社員証・学生証は受験者が所属する企業・団体・教育機関が発行するカード等です。詳細は必ず PearsonVUEにてご確認ください。
- 第二身分証明書：直筆署名付きの証明書パスポート、クレジットカード(署名付き)、図書館の貸し出しカード(署名付き)、健康保険証
  - ※パスポートは、第一身分証明書と第二証明書のいずれか一方の身分証明書扱いになるため、パスポートを第一身分証明書として 使用した場合は、第二身分証明書を2つ目の身分証明書としてご持参ください。

## テストセンターに持ち込んではいけないもの

- 武器 - テストセンターでは武器の持ち込みは禁止されています。武器(またはテスト管理者が武器とみなすもの)を持ってきた場合は、車の中に保管するように言われます。試験場に車で行かなかった場合は、他の持ち物と一緒にロッカーに収納することができます。
- これには例外があります - あなたが法執行機関職員または警備員である場合、業務上の必要がある場合は、武器を携帯することができます。この例外は、試験を受ける予定の法執行機関職員や警備員には適用されません。

## ネームマッチングポリシー

- IDに記載されている姓名は、ピアソンVUE に登録する際に使用した姓名と完全に一致している必要があります。(例えば、運転免許証にチャールズと記載されている場合は、チャックやチャーリーではなく、チャールズとして登録してください)
- 名前が一致しない場合は、試験日当日試験場に、改名を法的に証明するものを持参しなければなりません。書類は原本(コピーやFAXではない)に限ります。ピアソンVUEが受け入れることができるのは、法的に認められた書類のみです。
  - 婚姻許可証
  - 離婚判決
  - 裁判所による法的な名義変更書類
- ピアソンVUEで名前の登録を間違えた場合は、試験日までに(ISC)<sup>2</sup>に連絡して訂正してもらう必要があります。
- 試験場で、もしくは試験日に名前の変更はできません。名前が一致しない場合は退場してもらうことになります。受験料は返金されません。

## 受験の日

### チェックインプロセス

試験開始時間の30分前までに試験会場に到着しましょう。チェックインするには

- 身分証明書を2つ提示してください。
- 署名する

手のひら静脈スキャンを提出する (法律で禁止されている場合を除く)

- 写真を撮影する帽子、スカーフ、コートは写真のために着用できない場合があります。また、これらのアイテムを試験室で着用することはできません。
- 私物は試験室の外に置いておきましょう。安全な保管場所に保管できます。収納スペースは狭いので、うまく整理しましょう。ピアソンVUEテストセンターは、あなたの私物についての責任を負いません。
- テスト管理者 (TA) は、簡単なオリエンテーションを行います。その後、TAがコンピュータ端末までエスコートします。

## 受験のアシスタントと休憩

- 試験中は、スタッフが許可しない限り、席にいないければなりません。TAの指示がない限り、コンピュータの端末を変更することはできません。
- 手を挙げてTAに通知してください。
  - パソコンに問題がある場合
  - 何らかの理由で管理者が必要な場合
- 試験時間には、予定外の休憩時間も含まれています。すべての休憩はテスト時間にカウントされます。休憩時間には必ず試験室を出なければなりません。ただし、絶対に必要な場合(菓の入手など)を除き、建物の外に出たり、私物に手を出したりすることはできません。
- 休憩するときは、休憩前と休憩後に手のひら静脈スキャンの提出を求められます。

## テスト環境

- ピアソンVUEのテストセンターでは、多くの種類の試験を実施しています。試験によっては、文章(小論文など)を書くこともあります。テストセンターでは、隣のキーボードでタイピングしている人の音が聞こえることがあります。タイピングノイズは、コンピュータ化されたテスト環境では起こりうることで紙と鉛筆のテスト環境でページをめくる音が気になる場合と同様です。
- 必要な場合、耳栓も用意があります。

## 試験が終わったら

- 終了後、手札を上げてTAを呼びます。全ての条件を満たしていれば、TAはあなたの退室を許可します。
- 以下のような場合は、テストセンターを出る前に必ずTAに連絡してください。
  - テストの実施方法に異常があったと考える場合
  - 受験の環境に問題があり、試験の結果に悪影響を与えた場合

## 技術的な問題

- まれに、テストセンターで技術的な問題が発生することがあります。その場合は、サイバーセキュリティ試験の日程を再設定する必要があるかもしれません。
- 技術的な問題で試験開始予定時刻から30分以上待たされる場合や、試験中に30分以上中断が起きた場合は、待ち続けるか、追加料金なしでスケジュール変更をするかを選択することができます。

- 遅延が発生した後に、リスケジュールを行わず、テストを受けることを選択した場合、テストの結果は評価されます。待つことを選択したものの、試験を開始する(または再開する)前に気が変わった場合は、後日、追加費用なしで試験を受けることができます。
- リスケジュールを選択した場合や、技術的な問題が解決できない場合は、追加料金なしで後日テストを行うことができます。
- あなたの時間が貴重なものであることを理解しています。試験前に試験センターが技術的な問題を発見した場合、試験センターはあなたに連絡するためにあらゆる努力をします。

## 結果報告

### 結果を受け取る

- (ISC)<sup>2</sup>は、徹底してスコアデータの統計的・心理学的分析を行い、合否スコアを確定させてからスコアを開示します。この分析を行うためには、一定の受験者数が必要です。
- 受験者数にもよりますが、この重要なプロセスを完了させるためにスコアが約6～8週間遅れることがあります。
- テストセンターでチェックアウトする際、TAが非公式の試験結果を教えてください。後日、(ISC)<sup>2</sup>から正式な結果をメールでお知らせします。
- 場合によっては、リアルタイムの結果が得られないことがあります。
- すべての試験結果は、(ISC)<sup>2</sup> 心理測定・フォレンジック的評価の対象となります。この評価は、正式な結果が出た後に行われる可能性があります。(タイミングは受験が行われた回数に応じます) 心理測定・フォレンジック的評価がスコアに影響する場合は、(ISC)<sup>2</sup>が通知します。
- 結果を電話でお伝えすることはありません。このポリシーについてご不明な点がある場合は、試験前に(ISC)<sup>2</sup>までお問い合わせください。

### 試験の不正と結果の無効化

- (ISC)<sup>2</sup>は、試験前、試験中、試験後に異常、不正、ポリシー違反があったと疑われる場合、その状況を調査し、措置が必要かどうかを判断します。(ISC)<sup>2</sup>は、影響を受けた受験者の試験を採点しないというを選択することができます。あるいは、(ISC)<sup>2</sup>は、影響を受けた受験者の結果を取り消すことを選択することができます。
- (ISC)<sup>2</sup> の独自の判断で、次のようにする場合があります。
  - 取得したすべての資格を取り消す。将来の(ISC)<sup>2</sup>認定資格の取得を禁止する。
  - (ISC)<sup>2</sup> 試験契約に記載されている状況下では、試験の採点を拒否したり、試験をキャンセルしたりすることができます。

### 再受験ポリシー

- CISSP、CAP、CCSP、CSSLP、HCISPP、CISSP-ISSAP、CISSP-ISSEP、CISSP-ISSMP および SSCP の各認定試験については、再受験に関する 2 つの独立したルールがあります。
  - 再受験に際しては、テストを受けられない期間があります。
    - 初受験で合格できなかった場合は、30日後に再受験することができます。





- 2回目の受験で合格できなかった場合は、直近の受験から60日間の期間を経て再受験することができます。
- 最後に、3回目の受験(およびそれ以降の再受験)で試験に合格しなかった場合は、直近の受験から90日後に再受験することができます。
- 認定プログラムごとに、最大で12ヶ月間に4回まで(ISC)<sup>2</sup>試験を受験することができます。
- ただし、受験者は複数の資格取得を同時に進めることができます。

## 試験による再認定

- 次のような原因で資格を失ってしまった場合は、再認定のために試験を受けることができます。
  - 必要とされる継続教育の単位数を満たさなかった。
  - エンドースメントの期限を過ぎた。

# (ISC)<sup>2</sup> 合否判定ルール

受験者がCISSP CAT試験に合格するか不合格になるかの判断は、3つの異なるシナリオに基づきます。

\* ただし、それ以外の試験については、正答数に基づいて合否を判定します。\*

- シナリオ1. 95%確実ルール
- このシナリオは、受験生にとって最も一般的なものです。コンピュータは、受験者の能力が合格基準を明らかに上回っているか、合格基準を明らかに下回っているかのいずれかであることが95%確実である場合に、出題を終了します。
- シナリオ2. 最長試験
- 受験者の能力レベルによっては、合格基準に非常に近い場合があります。このような場合には、コンピュータは、最大問題数に達するまで出題を継続します。このとき、コンピュータは95%確実ルールに関わらず、最終的な能力推定値のみを考慮します。
  - 最終的な能力推定値が合格基準以上であれば合格です。
  - 最終的な能力推定値が合格基準以下の場合は不合格となります。
- シナリオ3. 時間切れルール
- 候補者が最大出題数に達する前に時間切れになり、コンピュータが95%の確実性で合格か不合格かを判断できなかった場合は、別の基準が使用されます。
- 受験者が必要最低限の出題数に回答していない場合は、自動的に不合格となります。
- 最低限の必須問題が回答された場合、コンピュータは直近の 60 問の能力推定値に注目します。直近60問の能力推定値が一貫して合格基準を超えていれば合格です。
  - 候補者の能力推定値が過去60問で1回でも合格基準を下回った場合は不合格となります。
- これは、受験者が過去60問を全て正解しなければならないということではありません。各能力の見積もりは、過去に回答したすべての問題に基づいています。

## 異なるフォーマットの問題

受験者は、多肢選択式の項目のほかに、異なるフォーマットで作られた問題も出題されることがあります。これらのフォーマットには、計算、順序づけられた応答、ドラッグアンドドロップ、および／またはホットスポットが含まれますが、これらに限定されません。問題は、チャートや表などのマルチメディアを含むことがあります。

## CISSP合格基準

CISSP CAT試験とCISSP連続問題式試験は同じ試験ですが、実施形式が異なります。しかし、どちらの試験形態も同じ内容を使用し、同じ合格基準を使用しています。ジョブタスク分析の結果に基づいて新たな試験様式を作成する場合は、新たに試験の合格基準を設定します。合格基準は、カットスコアとも呼ばれ、CISSPの資格を持ち、良好な状態にあるSME (Subject Matter Experts) のグループによって、心理測定士の指導の下に設定されます。専門家は、検定試験で一般的に用いられている標準的な設定方法の一つであるモディファイドアンゴフ法 (Modified Angoff法) を用いて、試験の各問題を検討し、対象となるMCC (Minimally Competent Candidates) のうち、どの程度の割合で各問題に正解するかを推定するという厳格なプロセスを実施しています。これらの対象グループの問題性能推定値を問題間で合計し、各専門家のカットスコアを求め、グループ全体

全体のカットスコアを平均化することで、MCCが取得するであろう最低合格点の推定値を算出します。基準設定ワークショップでは、心理測定士がMCCがどのように定義されているかを詳細に説明し、CISSPにおける心理測定的に有効なカットスコアを設定するための専門家のトレーニングを行います。CISSP試験に合格するためには、各受験者はスケールスコアで700点以上を獲得する必要があります。CISSP試験において、受験者の一定の割合を合格とするといったことはありません。

## 類似問題

時折、受験者の中には、試験の最初の方に出た問題と非常に似ていると思われる問題が出てくることがあります。これは様々な理由で起こる可能性があります。例えば、いくつかの問題は、似たような状況、シナリオ、または問題についてのもですが、セキュリティプロセスの異なる段階に対応しています。別の可能性として、プレテストの(採点されない)問題が、正式な(採点される)問題に似た内容であることもあります。以前に出題された問題と内容が似ている第2の問題が出題されたのは、第1の問題を誤って回答したからだと考えるのは誤りです。出題された各問題について、正しいと思われる回答を必ず選択してください。すべての試験は、それぞれの試験計画に準拠しています。

## 推測

短時間での推測はあなたのスコアを劇的に低下させることがあります。非公式のテスト対策会社は、紙と鉛筆のテストでは、答えなかった問題は誤答と判断されると考えている場合があります。時間が無い状態で候補者のスコアを向上させるために、そういった会社は、候補者が少しでも問題を正解することを期待して、(問題をちゃんと読まずに)すぐに推測で回答させるようにすることがあります。CISSP CAT試験に対応したテストでは、これは最悪の結果になる可能性があります。そのような行為は、受験者に簡単な問題が出題され、受験者の能力推定値を下げてしまいます。一番のアドバイス:

1. 適度なペースを保つこと(各問題に1分から2分以内の時間をかけること)
2. 一つ一つの問題を丁寧に読んで検討してから回答しましょう。



## 追加試験情報

### 参考文献の補足

受験者は、CBKに関連する関連資料を確認し、さらに注意を払う必要がありそうな研究分野を特定することで、自分の教育と経験を補うことが奨励されます。

補足文献の全リストは[www.isc2.org/certifications/References](http://www.isc2.org/certifications/References)でご覧いただけます。

### 試験の方針と手続き

(ISC)<sup>2</sup>は、受験者が試験に登録する前に、試験の方針や手続きを確認することをお勧めします。この重要な情報の包括的な内訳は、[www.isc2.org/Register-for-Exam](http://www.isc2.org/Register-for-Exam)よりご覧ください。

### 法的情報

(ISC)<sup>2</sup>の法的方針に関するご質問は、(ISC)<sup>2</sup>法務部 ([legal@isc2.org](mailto:legal@isc2.org)) までお問い合わせください。

### 質問がある場合

(ISC)<sup>2</sup> メンバーサービス

Eメール: [membersupport@isc2.org](mailto:membersupport@isc2.org)

### (ISC)<sup>2</sup> アメリカ

Tel: +1.866.331.ISC2 (4722) | [info@isc2.org](mailto:info@isc2.org)

### (ISC)<sup>2</sup> Asia-Pacific

Tel: +(852) 2850.6951 | [isc2asia@isc2.org](mailto:isc2asia@isc2.org)

### (ISC)<sup>2</sup> EMEA (欧州・中東・アフリカ)

+44 (0)203 300 1625 | [info-emea@isc2.org](mailto:info-emea@isc2.org)